

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価規準
1 学 期	4・5	都道府県を調べよう ～東京都の様子～	【知技】 国内における東京都の位置、隣接する県との位置関係、都全体の地形や主な産業、交通網の様子や主な都市の位置などについて、地図帳や各種の資料などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、東京都の様子について理解している。
			【知技】 調べたことを白地図などにまとめて、東京都の地理的環境の概要及び、47都道府県の名称と位置を理解している。
			【思判】 東京都の位置、東京都全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な駅の位置などに着目して、問いを見出し、東京都の様子について考え、表現している。
			【思判】 日本全体における東京都の位置、都全体の地形の様子、産業の分布や交通網の広がりなどを関連付け、総合などして東京都の地理的環境の特色を考え、表現している。
			【主体】 東京都の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究・解決しようとしている。
	6	水はどこから	【知技】 供給の仕組みや経路、都内外の人々の協力などに着目して見学・調査したり地図などの資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、飲料水の供給のための事業の様子を理解している。
			【知技】 調べたことを白地図や図、文章などにまとめ、飲料水を供給する事業について、安全で安定的に供給できるように進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。
			【思判】 供給の仕組みや経路、都内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、飲料水の供給のための事業の様子について考え表現している。
			【思判】 供給の事業に見られる仕組みや人々の協力関係と地域の人々の健康や生活環境を関連づけて、それらの事業が果たす役割を考えたり、学習したことを基に節水のために自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。
			【主体】 飲料水を供給する事業について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
2 学 期	7	ごみの処理と再利用	【主体】 よりよい社会を考え、学習したことを基に、社会への関わり方を選択・判断しようとしている。
			【知技】 廃棄物処理の仕組みや再利用の様子、都内外の人々の協力などについて、調査・見学したり、地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。
			【知技】 調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物処理に関する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるように進められていることや、生活環境の維持と向上を支えていることを理解している。
			【思判】 廃棄物処理の仕組みや再利用の様子、都内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、廃棄物の処理のための事業の様子について考え、表現している。
			【思判】 廃棄物処理の仕組みや人々の協力関係と地域の良い生活環境を関連付けて、その事業が果たす役割を考えたり、学習したことを基に、廃棄物の減量化のために、自分たちが協力できることを考えたり、選択・判断したりして表現している。
3 学 期	9	水害からくらしを守る	【主体】 廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
			【主体】 学習したことを基に地域の人々の健康や生活環境を守るための法やまきりの大切さに気付き、地域社会の一員として、廃棄物の減量や資源の再利用について自分たちにできることを考えようとしている。
			【知技】 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。
			【知技】 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。
			【思判】 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して問いを見だし、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現している。
4 学 期	10	受けつがれる祭り 武蔵府中くらしやみ祭	【思判】 自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動とを関連付けて、それらの働きを考えたり、地域に起こり得る災害を想定し、自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。
			【主体】 自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
			【主体】 学習したことを基に、自然災害から自身の安全を守ることや、自然災害の備えへの関わり方、自分たちに何ができるかを考えようとしている。
			【知技】 歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取り組みについて、見学・調査したり年表や地図帳などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、東京都内の文化財や年中行事の様子を理解している。
			【知技】 調べたことを文章や年表などにまとめて、都内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。
5 学 期	11・12	とどけよう水の命 玉川兄弟と玉川上水の開発	【思判】 歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、問いを見だし、東京都内の文化財や年中行事の様子について考え表現している。
			【思判】 文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と、地域の人々の願いを関連付け、文化財や年中行事を保存していることの意味を考えたり、自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。
			【主体】 文化財や年中行事について、予想し学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
			【主体】 学習したことを基に、文化財や年中行事を継承していくために、東京都民の一人として自分たちにできることを考えようとしている。
			【知技】 当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした玉川兄弟らの働きを理解している。
6 学 期	1	染め物のさかんな新宿区	【知技】 調べたことを年表や思考ツール、文などにまとめ、玉川兄弟らは、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。
			【思判】 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して問いを見出し、玉川兄弟の業績と江戸の人々の願い、開削工事が進む様子、分水によって新田開発が広まっていく様子に関連付けて考え、文章などで適切に表現したり、根拠を示して話合ったりしている。
			【思判】 玉川兄弟らの業績と、地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて先人の働きや願いを考え、適切に表現している。
			【主体】 地域の発展に尽くした玉川兄弟らの働きについて、予想を基に学習計画を立て、問題解決の見通しを持ち、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。
			【主体】 玉川兄弟の働きと、玉川上水のその後の様子などを基に、現代の地域の人々の生活を関連付け、これからの地域社会の発展について考えようとしている。
7 学 期	2	世界とつながる大田区	【知技】 新宿区の位置や自然環境、染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などについて調べ、必要な情報を集め、読み取り、染め物産業が盛んな新宿区の様子を理解している。
			【知技】 調べたことを白地図や文章などにまとめ、染め物産業に携わる人々が協力し、特色あるまちづくりや染め物産業の発展に努めていることを理解している。
			【思判】 新宿区の位置や自然環境、染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見だし、染め物産業が盛んな新宿区の様子について考え表現している。
			【思判】 地域の人々の活動や染め物産業を地域の発展と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして染め物産業の盛んな新宿区の特色を考え、適切に表現している。
			【主体】 染め物産業の盛んな新宿区について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
8 学 期	3	ゆたかな自然を守り生かす小笠原村	【主体】 学習したことを基に、これからの伝統的な技術を生かした地場産業について、東京都民の一人として、どのように関わっていくべきか考えようとしている。
			【知技】 大田区の位置、国際交流活動及びその背景、人々の協力関係などについて、地図帳や各種資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国際交流に取り組む大田区の様子を理解している。
			【知技】 調べたことを文章に記述したり、新聞にまとめてたりして、大田区では人々が協力して国際都市をめざしたまちづくりをしていることを理解している。
			【思判】 大田区の位置や国際交流活動の背景、人々の協力関係などに着目して問いを見だし、大田区では人々が協力して国際都市をめざしたまちづくりに努めていることについて考え、表現している。
			【思判】 地域での活動状況と人々の取り組みを関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、国際交流に取り組んでいる大田区の特色を考え、適切に表現している。
9 学 期	4	小笠原村の自然と産業	【主体】 国際交流に取り組む大田区について予想をもち学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
			【主体】 学習したことを基に、東京都民の一人として外国人と共に生きる大切さについて考えようとしている。
			【知技】 小笠原の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、小笠原の様子を理解している。
			【知技】 調べたことをガイドマップや文などにまとめ、小笠原では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
			【思判】 小笠原の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見出し、小笠原の様子について考え、表現している。
10 学 期	5	小笠原村の自然と産業	【思判】 小笠原の人々の活動や産業と関連付けたり、自分たちの住んでいる地域と比較したりして、小笠原の位置や自然環境、小笠原の特色を考え、適切に表現している。
			【主体】 小笠原の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
			【主体】 東京都民の一人として小笠原の自然環境の素晴らしさやそれを守ることの大切さについて考えようとしている。